

## 第7回 テーマ 「いじめ、不登校等への対応」

- ・期 日 平成23年11月25日(金) 1、2時限
- ・受講者 学生 18人 (4年次17人、大学院生1人)
- ・学部教員 井門正美教授(教職実践演習実施委員会委員長)  
石黒純一教授、佐藤修司教授
- ・担当教員 斎藤 孝客員教授、石橋研一客員教授、神居 隆特任教授、

### 外部講師の紹介

外部講師である県立秋田明德館高校・新目敏子教育専門監の紹介等(斎藤客員教授)

### 講義「いじめ、不登校等への対応」

新目教育専門監が、スライドをもとに次の内容で講義を行った。

スペース・イオの取り組み

- ・入所児童生徒、進路状況等

いじめの状況と対応

不登校の状況と対応

児童生徒理解の在り方

教師と児童生徒との信頼関係等

人間関係に役立つ手法

また、新目教育専門監は、子どもとの信頼関係を踏まえた学級経営が大切であり、教師の力量を高めることが大切である。秋田の温泉のように「深さ・豊かさ・温かさ」(指導力・専門性・人間性)のある教師を目指してほしいと結んだ。



### 演習

実習シートをもとに二つの演習を実施した。

#### 【自己理解度】

「消極的」「攻撃的」「アサーティブ」の3種類の「自己主張」の内容について選択することで、客観的に自分の自己表現の在り方について理解を図るものである。

#### 【エゴグラム・チェックリスト】

「こころのグラフ」をもとに5つの心のバランスを見るものである。チェックリストをもとに、エゴグラムから自分の長所や短所を気づくことができる。

エゴグラムの8つのかたちとは、「円満型」「献身型」「自己主張型」「葛藤型」「苦悩型」「明朗型」「頑固型」「八方美人型」である。

#### リフレクションノートから

- ・いじめや不登校への対応として、環境を整えて適宜生徒に指導していく力が必要であると思う。
- ・自己表現などの演習は、自分を分かるためにやる事ができて良かった。
- ・エゴグラムから自己の様子が見えてきた。生徒一人一人にしっかりと向き合い、不登校やいじめに対応していきたい。
- ・は子どもの理解から始まるということが分かった。「ほめる」ことを大切にしていきたい。